

パレスホテル

Palace Hotel
(モンゴル国ウランバートル市)



外観

今回紹介するのは、モンゴルの首都ウランバートルにあるパレスホテルの風呂だ。パレスホテルはウランバートルの空港からウランバートル市内へ至る道の途中にある、いかにもソビエト風の古いホテルだ。

このホテルには日本式の浴場・サウナがある。利用の仕方はちょっと面倒である。まずフロントで浴場・サウナを利用したい旨を告げる。しかし、すぐには利用できない。通常、浴場・サウナは閉鎖されている模様だ。利用する客が少ないからであろう。したがって、サウナを温め、湯船に湯を入れるために時間がかかる。これがまた長い。1時間たっても湯船には15cmほどしか湯が入らず、1時間半待っても25cmくらいである。サウナは熱いと言うにはほど遠い。であるから、利用を開始したい2時間以上前にフロントに申し出るのが最も良いものと思われる。

2時間後、フロントで鍵を受領し、係員に案内される場所へ行く。浴室・サウナはかなり奥まったところにある。鍵をあけて中に入ると、中からは鍵をかけることがで

きる。つまり、浴室・サウナは貸切になるわけだ。脱衣室にはトイレ、洗面所があるが、脱いだものを入れる籠や、ロッカーの類はない。

浴室には洗い場が3か所、浴槽、水風呂、サウナがある。洗い場には固形石鹸が完備されている。カランはシングルレバー混合栓であるが、少々問題がある。シャワーの出が悪く、シャワーと蛇口との切り替えもスムーズにはいかない。

床は石貼であるが、溝が切られていて排水が円滑にいくように勾配がほどこされている。石職人の技を垣間見ることができる。ただし、溝に足を取られてつまづかないように注意。

浴槽の栓はビニール袋が突っ込んであり、少々みずばらしい。水風呂も同様である。水風呂はそれほど冷たくはない。

サウナは定員4~5人であろうか。3人ならばかなり余裕がある。そう言えば、脱衣室にはサンダルが3個あり、浴室の洗い場も3個である。この浴室・サウナは定員3人を前提に作られているようである。グループで利用するもよし、家族で利用するもよし。モンゴルで貸切風呂とは贅沢な話だ。

ちなみに、洗い場にはシャンプーはない。また、体を洗うためのタオルも用意されていないので、薄手のタオルを日本から持参するとよいであろう。

パレスホテルの周りには、チンギスハンビールが飲める高級レストラン「Ikh Khuraidai」「Broadway」や、食品や日用品が豊富にそろうスーパーマーケット

「JETRO」、携帯電話ショップ「MobiCom」、さらにホテルより有利なレートで両替ができる銀行も 2 軒ある。ホテルの客室の中には冷蔵庫、電気コンロ、電子レンジ、流し台等を備えるミニキッチン付の部屋もある。風呂好きが長期滞在でモンゴルをとことん楽しむためには実に都合のよいホテルである。

- 名称：パレスホテル
- 所在地：モンゴル国ウランバートル市チンギスハーン通り 25A (Chinggis Khaan' s Avenue 25A, Ulaanbaatar 210136, Mongolia)
- URL：http://www.palace.mn
- 営業時間：11：00～20：00
- 定休日：なし
- 入浴料：宿泊客は 3US\$ (日帰り入浴は 7US\$)
- 電話：+976-11-343565
- サウナ：あり
- サウナ内のテレビ：なし
- 取材：銭湯愛好会・東京支部
- 取材日：2011 年 10 月 2 日 (日)



浴槽



洗い場